

心エコー室で検査を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

三次元スペックルトラッキング法を用いた右室ストレイン解析に関する研究

[研究機関・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[実施責任者] 岩野 弘幸（北海道大学大学院循環病態内科学・助教）

[研究の目的]

最近、三次元スペックルトラッキング心エコー法という新しい技術が開発され、右心室の長軸方向および円周方向の心筋伸縮の程度（ストレイン）を評価することが可能となり、従来の二次元心エコー法では評価できなかった右室全体の心筋機能の評価ができるようになりました。

しかし、正常例や心疾患例で、実際どの程度三次元スペックルトラッキング法による右室心筋機能評価が計測できるのかは不明であるほか、その正常値や心疾患例ではどのように計測値が変化するのも不明です。さらに、右室のストレインと他心腔間の心筋ストレインの相互関係についても、不明の点が多く残されています。本研究では、これらの点を明らかにしたいと考えています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2019 年 4 月から 2020 年 3 月までの間に、北海道大学病院を受診され、担当医が診療のために必要と判断し心エコー検査が行われた方で、三次元スペックルトラッキング法を施行可能な装置で検査が行われた患者さん

●利用する診断情報

1. 診療記録から、年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、家族歴、身体所見、血液生化学的検査を含む各種検査所見、臨床経過および治療内容を調べます。
2. 心エコー検査記録から、左室サイズ、左室肥大の程度、左室機能、左房サイズ、右室サイズ、右室機能、右房サイズ、下大静脈径、ならびに三次元スペックルトラッキング心エコー法による左室、左房、右室および右房の心筋ストレインを調べます。

[研究実施期間] 実施許可日～2021年3月31日（登録締切日：2020年3月31日）

[個人情報の取り扱い]

本研究にあたっては、患者さんの個人情報保護に十分配慮します。研究担当者が北大病院内で診療記録や心エコー検査結果（画像を含む）を収集した後は、お名前、ご住所を始め、患者さんを特定できる情報を一切削除した上で研究を進めます。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際、患者さんの個人を特定する情報には一切触れることはありません。

*上記の研究に検査結果を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

札幌市北区北12条西5丁目

北海道大学保健科学研究所・助教 岡田 一範（連絡担当者）

電話 011-706-3730, FAX 011-706-3730